

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 11 月 22 日 (2007.11.22)

【公開番号】特開 2002-226314 (P2002-226314A)
 【公開日】平成 14 年 8 月 14 日 (2002.8.14)
 【出願番号】特願 2001-30412 (P2001-30412)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 6/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 6/00 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 10 月 4 日 (2007.10.4)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 5 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0 0 5 7】

比較例 1、2

抜去されたヒトの唇側前歯の無柱エナメル質表面をブラシコーンを用いて清掃した後、その表面に、40%リン酸水溶液(PA-1)又は35%ポリアクリル酸水溶液(A-1)を塗布した。10秒後に、流水にてリン酸またはポリアクリル酸、およびこれらの酸エッチング剤によって脱灰された無柱エナメル質成分を洗い流した。その後、歯科用エアーシリングを用いて歯質表面の水分を蒸散させた。これらの酸エッチング剤にて処理された歯質表面に、直接、矯正用コンポジットレジンである「クラスパーF、ペースト」[(株)クラレ製、商品名]をのせ、硬化させた。その他は、実施例1の光沢性試験方法及び着色性試験方法に準拠して光沢性と着色性を評価し、結果を表1に併記した。また、上記の接着システムで「クラスパーF、ペースト」を接着し、その他は、実施例1の接着力試験方法に準拠して、ウシの歯の無柱エナメル質に対する接着力を測定し、測定結果を表1に併記した。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 5 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 5 8】

比較例 3、4

抜去されたヒトの唇側前歯の無柱エナメル質表面をブラシコーンで清掃した後、その表面に、40%リン酸水溶液(PA-1)又は35%ポリアクリル酸水溶液(A-1)を塗布した。10秒後に、流水にてリン酸またはポリアクリル酸、およびこれらの酸エッチング剤によって脱灰された無柱エナメル質成分を洗い流し、歯科用エアーシリングを用いて歯質表面の水分を蒸散させた。その後、更に実施例1の接着性組成物を用いてクラスパーF(ペースト)を接着した。その他は、実施例1の光沢性試験方法及び着色性試験方法に準拠して光沢性と着色性を評価し、結果を表1に併記した。また、上記の接着システムで「クラスパーF、ペースト」を接着し、その他は、実施例1の接着力試験方法に準拠して、ウシの歯の無柱エナメル質に対する接着力を測定し、測定結果を表1に併記した。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 6 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 6 3 】

比較例 5、6

抜去されたヒトの唇側前歯の無柱エナメル質表面をブラシコーンを用いて清掃した後、その表面に、20%リン酸水溶液(PA-2)又は50%ポリアクリル酸水溶液(A-2)を塗布した。10秒後に、流水にてリン酸またはポリアクリル酸、およびこれらの酸エッチング剤によって脱灰された無柱エナメル質成分を洗い流した。その後、歯科用エアーシリングを用いて歯質表面の水分を蒸散させた。これらの酸エッチング剤にて処理された歯質表面に、直接、矯正用コンポジットレジンである「クラスパーF、ペースト」[(株)クラレ製、商品名]を硬化させた。その他は、実施例1の光沢性試験方法及び着色性試験方法に準拠して光沢性と着色性を評価し、結果を表2に併記した。また、上記の接着システムで「クラスパーF、ペースト」を接着し、その他は、実施例1の接着力試験方法に準拠して、ウシの歯の無柱エナメル質に対する接着力を測定し、測定結果を表2に併記した。

【手続補正4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 6 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 6 4 】

比較例 7、8

抜去されたヒトの唇側前歯の無柱エナメル質表面をブラシコーンを用いて清掃した後、その表面に、20%リン酸水溶液(PA-2)又は50%ポリアクリル酸水溶液(A-2)を塗布した。10秒後に、流水にてリン酸またはポリアクリル酸、およびこれらの酸エッチング剤によって脱灰された無柱エナメル質成分を洗い流し、歯科用エアーシリングを用いて歯質表面の水分を蒸散させた。その後、更に実施例6の接着性組成物を用いてクラスパーF(ペースト)を接着した。その他は、実施例1の光沢性試験方法及び着色性試験方法に準拠して光沢性と着色性を評価し、結果を表2に併記した。また、上記の接着システムで「クラスパーF、ペースト」を接着し、その他は、実施例1の接着力試験方法に準拠して、ウシの歯の無柱エナメル質に対する接着力を測定し、測定結果を表2に併記した。

。